

地域デビュー講座

～「真のワーク・ライフ・バランス」の実現を目指して～

キーワード：「地域活動」「社会貢献」「ノウハウ伝授」「広範な連携」

活動のきっかけや目的～「真のワーク・ライフ・バランス」を広く周知～

京都市では、市民ひとりひとりが仕事や家庭生活、社会貢献などにおいて、生きがいと充実感を得て人生が送れる「真のワーク・ライフ・バランス」を京都市基本計画の重点戦略の一つに位置付けています。

平成 23 年度には、これを具体的に進めるための「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画の策定と並行して、その考え方を広く周知するため、男女が共にそれぞれのライフスタイルやライフステージに応じて社会参加や社会貢献ができるために必要なノウハウを伝授する「地域デビュー講座」を、市役所内の関係局の協力により実施しました。

活動の内容 身近な「つながり」を見つめ直そう～地域デビュー講座～

普段の生活の中で、身近な人との「つながり」を意識することはありますか。

いざという時に大事なものは、お互いに支え合える家族や地域の人間関係です。あわただしい毎日を送る中でも、少しの時間を家庭や地域に充てることで、より豊かな生活が送れるのではないのでしょうか。

地域デビュー講座では、このような視点から、市民の方に「真のワーク・ライフ・バランス」について考えていただき、地域活動・社会貢献活動へのきっかけとしていただくようなメニューを考えました。

回	日時・会場	テーマ・内容	講師等(敬称略)	主催(所管課)等
1	平成 23 年 7 月 9 日(土) 午後 2 時～午後 4 時 ----- ウィングス京都セミナー室	「地域のことは地域で守る ～防災の視点から 人と つながる時間を育む～」 (内容) ・講義及びワークショップ	京都市市民活動 総合センター センター長(当時) 西田 洋之	京都市 (男女共同参画推進課) ◎参加人数：17 名
2	平成 23 年 10 月 2 日(日) 午後 2 時～午後 4 時 ----- ウィングス京都セミナー室	「男性介護の時代 ～介護仲間とつながる時間 を育む～」 (内容) ・講義及び参加者意見交換 ・京都市からの事業紹介	立命館大学産業 社会学部教授 津止 正敏	京都市 (男女共同参画推進課, 長寿福祉課) ◎参加人数：28 名
3	平成 23 年 11 月 13 日(日) 午後 1 時～午後 4 時 15 分 ----- 京都市勤業館みやこめっせ 展示場	「京都市市民共汗サポーター 大交流会～ボランティア はじめの一步～」 【第 1 部】 基調講演及び様々な分野で 市民活動に関わる人々による パネルディスカッション 【第 2 部】 分野別事例発表会とワーク ショップ	◎基調講演 東 ちづる (女優) ◎パネリスト 東 ちづる 浅利美鈴 平井誠一 藤野正弘 門川大作 (京都市長)	京都市 (市民協働政策推進室) ◎参加人数： 【第 1 部】450 名 【第 2 部】150 名 のべ 600 名

4	平成 23 年 11 月 18 日(金) 午後 7 時～8 時 30 分 ----- 京都商工会議所 講堂	OK企業研修会「父親も子育てを楽しもう」 (内容) 講義	気象予報士 正木 明	京都「おやじの会」連絡会 京都市教育委員会 ◎参加人数：100 名
5	平成 23 年 12 月 3 日(土) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 ----- ウィングス京都イベントホール	ウィングスフォーラム 2011 「仕事・家庭・地域 人生のスクラム」 (内容) ・ゲストによる対談 ・西岡正子(ウィングス京都館長)をコーディネーターとした、ゲストと京都市男女共同参画市民会議運営委員会委員によるパネルディスカッション	◎対談 元ラグビー日本代表 大八木淳史 KBS 京都ラジオ 編成・制作局長 村上 祐子 ◎パネリスト 大八木淳史 西脇悦子 石垣一也 国領佐知子 中本貴久	京都市男女共同参画 市民会議運営委員会 京都市 (男女共同参画推進課) ◎参加人数：210 名
6	平成 24 年 3 月 27 日(火) 午後 3 時～午後 4 時 30 分 ----- ウィングス京都セミナー室	「文化芸術とくらしを結び ～文化を通じて社会とつながる時間を育む～」 (内容) 講義(生け花実演含む)	華道末生流笹岡 家元 笹岡隆甫	京都市 (男女共同参画推進課) ◎参加人数：80 名

工夫したポイント 関係局や関係団体との連携による、多様な市民層へのアプローチ

企画や実施に当たっては、「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画策定に関わった関係局の事業との連携を図ることにより、より様々な角度から、様々な層の市民の方にメッセージが届くように工夫をしました。

★市民ボランティア「市民共汗サポーター」事業との連携

例えば、京都市では、平成 20 年度から市政やまちづくりに御活躍いただいている市民ボランティアの皆さんを「市民共汗サポーター」とお呼びし、皆様の特技や関心に合わせて市政の様々な取組に関わっていただく取組を進めてきました。平成 23 年度にその節目の事業として開催された「市民共汗サポーター大交流会」(所管：総合企画局市民協働政策推進室)を第 3 回地域デビュー講座と位置付けて開催することで、より多くの市民の皆さんに、ボランティア活動を通じて「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方を知っていただくことを目指しました。

★教育委員会、京都「おやじの会」連絡会との連携

また、京都市教育委員会では、京都「おやじの会」連絡会^(※1)とともに、父親が子育てに参加しやすい職場づくりを積極的に進める市内の事業所を O(おやじの) K(子育て参加に理解がある)企業として認定し、研修会実施や情報誌の発行等を行っています。平成 23 年度は、この OK 企業研修会を第 4 回地域デビュー講座に位置付けて開催し、企業で働くお父さんたちを主なターゲットに「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方を周知しました。

※1 京都「おやじの会」連絡会

「わが子の父親」から「地域のおやじ」へ！をスローガンに活動する、京都市内の学校・幼稚園等を単位に活動する父親たちによるサークル「おやじの会」の全市ネットワーク組織。各おやじの会からの有志で組織され、おやじの会同士の連携・合同事業の調整や全市おやじの会に関する事業を行っている。

★京都市男女共同参画市民会議ウィングスフォーラムの活用による幅広い主体の参画

さらに、毎年開催している京都市男女共同参画市民会議ウィングスフォーラムを第 5 回地域

デビュー講座に位置付け、その運営委員会^(*2)の委員も参加してパネルディスカッションを行うことで、経営者層や労働関係者も含めた幅広い市民の参加を得ることができました。

***2 京都市男女共同参画市民会議運営委員会**

京都市男女共同参画市民会議は、男女共同参画に関する市民の意識の向上を図るとともに、討議、学習、相互交流等を行う場として昭和53年に設置。市民による自主的な運営を図るために、運営委員会を置いている。現在の運営委員は17名（うち女性12名、男性5名）で、女性団体の他、労働組合、京都商工会議所、京都経営者協会、京都「おやじの会」連絡会から委員を選出している。

活動の成果や今後の展開

地域デビュー講座自体は、特に男性をターゲットとしたものではありませんでしたが、その実施により、講座に参加していただいた市民の方だけでなく、企画・運営に関わっていただいた京都「おやじの会」連絡会や京都商工会議所、京都経営者協会等、多くの男性が活躍しておられる関係団体の方々にも「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方を知っていただくことができたのではないかと思います。

今後、こうした男性の方々を通じて、「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方が男性にも浸透し、男女が共に仕事や家庭生活、社会貢献などにおいて、生きがいと充実感を得て人生が送れる社会の実現に近づいていければと期待しています。

【参加者の声を一部御紹介します】

○第2回「男性介護の時代」参加者から

★同じ悩みを持つ方達の集いは、介護をする者にとって役立つ。★男性介護者が孤立せずつながらるような働きかけができれば…と思う。★同僚にも介護で退職する方があった。自分もいずれそういう選択をせざるを得ない状況になると思うので参考になった。

○第3回「京都市市民共汗サポーター大交流会」参加者から

★自分のできること、そして、楽しむことから何か始めようと思った。★実践を通してボランティアの本質を理論的に分かりやすく話していただき、大変わかりやすかった。「ボランティアは結果的に自分が癒され、励まされ救われたことに気づかされた」と言われたことが印象的。★まちで、小さいながらも活動されていることが具体的に分かって、とてもためになった。

○第5回「仕事・家庭・地域 人生のスクラム」参加者から

★パネルディスカッションを聞いて気付かされたことが多い。今後の日常に生かしていきたい。★パネリストが楽しんで地域活動をされていることがよく伝わってきた。



第2回講座「男性介護の時代～介護仲間とつながる時間を育む～」より

★ ★ ★

地域デビュー講座は平成 23 年度で終了しましたが、平成 24 年度からは、「真のワーク・ライフ・バランス」推進のための様々な取組を行っています。

その中には、従来から行っている男性向けの家事・育児に関する講座等もあり、「長時間子供と二人きりで過ごしたことで、たくさん話し、子どもの新しい面を発見し、子育てや家事を担う気持ちが新たになった。」「早速お弁当を作った。」など、「イクメン」「イクジイ」や「カジダン」を目指す男性たちへの身近なきっかけづくりになったと好評を得ています。

また、平成 24 年度末には、これから社会に出ていく若者を主なターゲットとした「真のワーク・ライフ・バランス」の冊子を発行しました。その中で、「真のワーク・ライフ・バランス」を実践し、仕事だけでなく家庭や地域活動でもいきいきと活躍している男性の声もお届けしていますので、ぜひ一度お目通しください。



平成 24 年度に一般公募し、最優秀賞受賞作品を基に決定した「真のワーク・ライフ・バランス」ロゴマークです。

ワーク・ライフ・バランスのそれぞれのイニシャル「W」「L」「B」をモチーフに、家族や地域のつながりを表し、市民ひとりひとりが「真のワーク・ライフ・バランス」を実現していく躍動感・ひろがりをイメージしてデザインされています。

【自治体・事業紹介】

名称 京都市文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課

事業開始年 地域デビュー講座は平成 23 年度の単年度事業。「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画は平成 24 年 3 月策定。(計画期間：平成 24 年度～平成 32 年度)

ホームページアドレス

★男女共同参画推進課 <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu1/category/18-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

★「真のワーク・ライフ・バランス」の推進

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu1/category/18-4-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

連絡先 075-222-3091